

ハワイ医学教育プログラム

Hawaii Medical Education Program

(HMEP) 趣旨

【ゴール】

1. 日本の医学教育の国際標準化および国際的に活躍できる医師の育成
2. 日本における米国式医学教育のロールモデルとなり大学の垣根を越えて日本全体に浸透させる
3. 日米の医学教育交流を促進
4. 日本の医学教育の良さを海外へ発信

【方法】

ハワイ大学医学部のカリキュラムのうち特に米国式クラークシップ（臨床実習）を導入する。現存の各位学部のカリキュラム・取得単位・卒業資格・国家試験受験資格は維持する。（各校が正式な実習単位を出すことが可能であり、これは文科省の確認済み）。

1年次から4年次前半ぐらいまでは毎週土曜日に課外活動として授業（Open Cross Class）を開催。4-6年次の臨床実習に各校から選抜された数人から十人程度の学生は、他校からの学生と交じってHMEP Clinical Clerkshipを行う。学生はStudent Doctorとして診療に参加する。

【特徴】

1. 学生に第一のPriority、教育者に第二のPriorityをおく
2. サイエンスとアートのバランスを重視
3. 医師の6つのCompetenciesの修得
4. 政治的事項や閉鎖的な考えに依らない、Open・Cross-Cultural・Cross-Institutional・Exchange・Diversityに重きを置く教育
5. ハワイ大学の全面支援のもと、常に最新の米国医学教育の提供

【ビジョン】

Globalization（国際化）は日本と世界の双方向性をもつとの理念に基づき、HMEPを日本の医学部に段階的に浸透させる。医学部の国際標準化を通して日本の教育の全体的な底上げを図り、国際的な実力と感覚をもった医師を増加させる。彼らが世界に誇れる医療者になること、また希望すれば世界に翔たくことを支援する。

医師に続いてナースをはじめとする医師以外の医療従事者の国際化もすすめる。
国際標準医療・英語での医療を在日外国人や外国人訪問者に提供できる環境に貢献する。

文責：Junji Machi 町淳二
Professor of Surgery
Assistant Director, Office of Global Health & Medicine
JABSOM, University of Hawaii